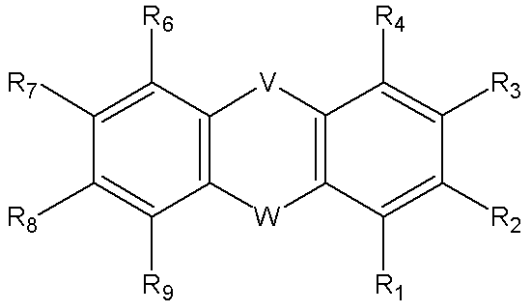
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成25年4月4日(2013.4.4)

【公開番号】特開2012-82219(P2012-82219A)
【公開日】平成24年4月26日(2012.4.26)
【年通号数】公開・登録公報2012-017
【出願番号】特願2011-288921(P2011-288921)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/5415　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/5415
Ａ６１Ｐ　31/04

【手続補正書】
【提出日】平成24年1月26日(2012.1.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
細菌、ウイルスおよび真菌からなる群から選択される病原菌を殺すか、阻害するか、さもなければその増殖を減退させることができる抗感染症薬と組み合わせた感染症の治療薬または予防薬の製造のための、一般式（Ｉ）：
【化１】



（Ｉ）
［式中、
ＶはＳであり；
ＷはＣ＝ＣＨ－（ＣＨＸ）$_{m}$－Ｎ（Ｒ$_{10}$）（Ｒ$_{11}$）であり；
ｍは１～５の範囲の整数であり；
Ｘはそれぞれ、独立して水素、ハロゲン、ヒドロキシ、アミノ、ニトロ、Ｃ$_{1-6}$－アルキルおよびＣ$_{1-6}$－アルコキシからなる群から選択され；
Ｒ$_{2}$はＦ、Ｃｌ、Ｂｒ、Ｉ、ＣＨ$_{2}$Ｙ、ＣＨＹ$_{2}$およびＣＹ$_{3}$（ここに、Ｙはハロゲン原子である）からなる群から選択され；
Ｒ$_{1}$、Ｒ$_{3}$、Ｒ$_{4}$、Ｒ$_{5}$、Ｒ$_{6}$、Ｒ$_{7}$、Ｒ$_{8}$およびＲ$_{9}$はそれぞれ、独立して水素、Ｃ$_{1-6}$－アルキルおよびＣ$_{1-6}$－アルコキシからなる群から選択され；
Ｒ$_{10}$およびＲ$_{11}$はそれらが付加している窒素原子と一緒になって、含窒素ヘテロアリールまたはヘテロシクリルを形成する］

で示される化合物またはその塩の使用（ここに、感染症はウイルス、細菌および真菌からなる群から選択される病原菌により引き起こされ、該病原菌は薬物耐性を示し；そして該病原菌は黄色ブドウ球菌株SA-1199、SA-1199B、SA-K1712、SA-K1748、SA 8325-4およびSA-K2068からなる群から選択されるものではない）。

【請求項２】

R_2がＣｌまたはCF_3である、請求項１記載の使用。

【請求項３】

ｍが２または３である、請求項１または２のいずれかに記載の使用。

【請求項４】

R_{10}およびR_{11}がそれらが付加している窒素原子と一緒になって、ヘテロシクリルを形成する、請求項１～３のいずれかに記載の使用。

【請求項５】

ヘテロシクリルがC_{1-6}アルキル基でパラ位にて置換されたピペラジニルである、請求項４記載の使用。

【請求項６】

Ｃ＝ＣＨ－（ＣＨＸ）$_m$－Ｎ（R_{10}）（R_{11}）基がトランス配置である、請求項１～５のいずれかに記載の使用。

【請求項７】

化合物が臨床的に意義のある量の化合物である、請求項１～６のいずれかに記載の使用。

【請求項８】

定常状態血清濃度が０．０１μｇ／ｌから８．０ｍｇ／ｌ未満の間である、請求項７記載の使用。

【請求項９】

病原菌が多剤耐性を示す、請求項１～８のいずれかに記載の使用。

【請求項１０】

細菌、ウイルスおよび真菌からなる群から選択される病原菌を殺すか、阻害するか、さもなければその増殖を減退させることができる抗感染症薬がアミノグリコシド；カルベセフェム（cabecephem）；カルバペネム；セファロスポリン；マクロライド；モノバクタム；ペニシリン；ポリペプチド；キノロン；スルホンアミド；テトラサイクリン；アシクロビル；アマンタジン；シドフォビル；ファムシクロビル；ホミビルセン；フォスカルネット；ガンシクロビル；インターフェロンアルファ；オセルタミビル；ペンシクロビル；リバビリン；リマンタジン；トリフルリジン；バラシクロビル；バルガンシクロビル；ビダラビン；ザナミビル；アンフォテリシンＢ；カスポファンギン；フルコナゾール；フルシトシン；イトラコナゾール；ケトコナゾール；およびボリコナゾールから選択される、請求項１～９のいずれかに記載の使用。

【請求項１１】

細菌、ウイルスおよび真菌からなる群から選択される病原菌を殺すか、阻害するか、さもなければその増殖を減退させることができる抗感染症薬がアミカシン、ゲンタマイシン、カナマイシン、ネオマイシン、ネチルミシン、ストレプトマイシン、トブラマイシン、ロラカルベフ、エルタペネム、イミペネム／シラスタチン、メロペネム、セファドロキシル、セファゾリン、セファレキシン、セファクロール、セファマンドール、セファレキシン、セフォキシチン、セフプロジル、セフロキシム、セフィキシム、セフジニル、セフジトレン、セフォペラゾン、セフォタキシム、セフポドキシム、セフタジジム、セフチブテン、セフチゾキシム、セフトリアキソン、セフェピム、アジスロマイシン、クラリスロマイシン、ジリスロマイシン、エリスロマイシン、トロレアンドマイシン、モノバクタム、アモキシシリン、アンピシリン、カルベニシリン、クロキサシリン、ジクロキサシリン、ナフシリン、オキサシリン、ペニシリンＧ、ペニシリンＶ、ピペラシリン、チカルシリン、バシトラシン、コリスチン、ポリミキシン（polymyxin）Ｂ、シプロフロキサシン、エノキサシン、ガチフロキサシン、レボフロキサシン、ロメフロキサシン、モキシフロキサ

シン、ノルフロキサシン、オフロキサシン、トロバフロキサシン、マフェニド、スルファセタミド、スルファメチゾール、スルファサラジン、スルフイソキサゾール、トリメトプリム－スルファメトキサゾール、デメクロサイクリン、ドキシサイクリン、ミノサイクリン、オキシテトラサイクリン、テトラサイクリン、アシクロビル、アマンタジン、シドフォビル、ファムシクロビル、ホミビルセン、フォスカルネット、ガンシクロビル、インターフェロンアルファ、オセルタミビル、ペンシクロビル、リバビリン、リマンタジン、トリフルリジン、バラシクロビル、バルガンシクロビル、ビダラビン、ザナミビル、アンフォテリシンＢ、カスポファンギン、フルコナゾール、フルシトシン、イトラコナゾール、ケトコナゾールおよびボリコナゾールから選択される、請求項１～９のいずれかに記載の使用。

【請求項１２】

請求項１～１１のいずれかに定義されている、化合物、および細菌、ウイルスおよび真菌からなる群から選択される病原菌を殺すか、阻害するか、さもなければその増殖を減退させることができる抗感染症薬；および少なくとも一つの医薬的に許容される担体または賦形剤を含有し、錠剤、カプセル、丸剤、散剤、顆粒剤、乳剤、ヒドロゲルなどのゲル剤、貼付剤、軟膏、クリーム、膏薬、水薬、運搬デバイス、坐剤、浣腸剤、注射剤、埋め込み剤、スプレーおよびエアロゾルからなる群から選択される形態である、医薬組成物。